

令和5年度 第2回岐阜市生物多様性シンポジウム

「レッドリスト・ブルーリストの生き物たち（哺乳類・鳥類）」

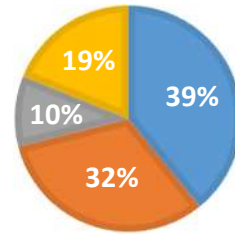
アンケート集計結果

1. このシンポジウムをどこでお知りになりましたか。

チラシを見て	39%
広報ぎふを見て	31%
ホームページ	10%
その他	19%

(70人から回答)

■チラシを見て ■広報ぎふを見て ■ホームページ ■その他

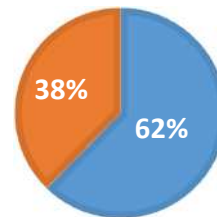


2. 本日はどちらからいらっしゃいましたか。

岐阜市内	62%
岐阜市外	38%

(69人から回答)

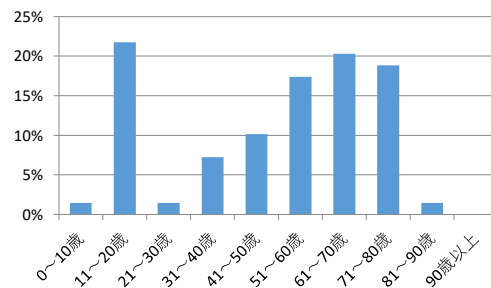
■岐阜市内 ■岐阜市外



3. ご年齢

0～10歳	1%
11～20歳	22%
21～30歳	1%
31～40歳	7%
41～50歳	10%
51～60歳	17%
61～70歳	20%
71～80歳	19%
81～90歳	1%
90歳以上	0%

(69人から回答)

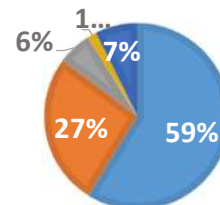


4. 参加回数

初めて	59%
2回目	26%
3回目	6%
4回目	1%
5回以上	7%

(68人から回答)

■初めて ■2回目 ■3回目 ■4回目 ■5回以上



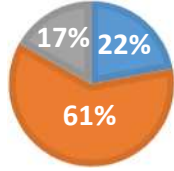
5. あなたの「生物多様性」についての理解度を教えてください。

①シンポジウム参加前

よくわかっている	22%
少しわかっている	61%
全く分からない	17%

(59人から回答)

■よくわかっている ■少しわかっている ■全く分からない

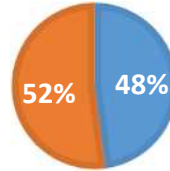


②シンポジウム参加後

よくわかっている	48%
少しわかっている	52%
全く分からない	0%

(48人から回答)

■よくわかっている ■少しわかっている ■全く分からない



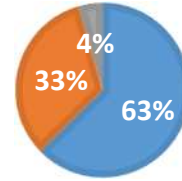
6. a) 本日の「講演」について

① 梶浦敬一さんの講演について

よくわかった	63%
わからないところもあった	33%
ほとんどわからなかった	4%

(67人から回答)

■よくわかっている ■少しわかっている ■全く分からない

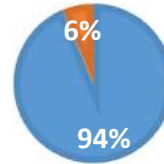


② 大塚之穂さんの講演について

よくわかった	94%
わからないところもあった	6%
ほとんどわからなかった	0%

(63人から回答)

■よくわかった ■わからないところもあった ■ほとんどわからなかった



## 6. b) 本日の「講演」について（意見・感想）

### ① 梶浦敬一さんの講演について

- ・ 人とのつながりと感動
- ・ 市内での状況が説明されたほうがよかった
  - ・ 岐阜市は何が増え、減っているのか。
- ・ データを取るために洞窟に入ったり熊が出回る時間帯に活動されているので生き物に対する熱意が伝わりました。
- ・ 先生が多くのチャレンジと人との出会いを大切にされながら調査されていることを感じました。二ホンリスの観察会などあったら行ってみたいです。
- ・ あまり哺乳動物についてとり上げませんでした。二ホンリスについて普段考えることがないだけに、話が聞ける貴重な機会でした。
- ・ ムササビとモモンガの違いを教えてください
- ・ 論文をどうやってつくるのか知りたい。
- ・ 自然調査のやりがいや面白さが伝わりました。沖縄料理屋さんに行ったヤマコウモリの話がおもしろかったです。
- ・ 先生の哺乳動物研究の過程のご努力がうかがえるお話でした。現場での行動・実験の大切さを改めて思い知らされました。
- ・ ニホンカモシカが保護されすぎて増加したということを知って驚きました。また、二ホンリスが6割オニグルミを貯蔵して春に掘りおこすという特性はおもしろいなと思いました。聞いて良かったです！
- ・ 感動しました。
- ・ 動物との出会いは人との出会い、素晴らしいですね。
- ・ 調査の大切さ、楽しさがよく理解できた。
- ・ 担任の先生の恩師だときいてぜひ行ってみたいと思いました。これで良かったです。
- ・ 動物との出会いが人との出会いにもつながることが衝撃的だった。この前モグラを見る機会があってどのモグラかが分からなかったが、今回の話を通してもっといろいろな動物を知りたいと思った。
- ・ 自分の知らなかったことが知れてとても良かったし、興味を持てたのでよかった。
- ・ 写真をもう少し大きく映してください 貴重な写真なのに小さくて残念でした…
- ・ ほ乳類自体のお話を、もう少し多く聞きたかったです。しかし、そういった生物と出会う感動が大切なのだという事はよくわかりました。
- ・ 個人的に哺乳類は調べようにも会う機会が少ないため、貴重だったし、動画などを通して気軽に知ることができておもしろかった。
- ・ 事実だけでなく、調査の過程、疑問に思った経緯まで聞くことができ、面白かったです。金華山に登った際、リスが動き回っているのを見つけて興奮したのですが、クリハラリスだったかもしれないと思い、少しがっかりしたとともに、「かわいい動物」というだけで悪く言うのをためらってしまったのをもうしわけなく思いました。
- ・ 楽しかったです。忘れることが生きる道である。（リスの話、勉強になりました。）
- ・ 外来種等の今日本に多い動物は人の手によって広まってしまったものが多いと分かり、アライグマは可児市から等県外から身近なところまで広がっているのだなと思いました。あつてみたい動物は、繁殖時期、活動時間、場所を調べてから探しに行こうと思いました。ありがとうございました。
- ・ 岐阜市内にも二ホンリスや様々なコウモリ類が生息していることが分かったが、シベリアイタチやヌートリアといったブルーリストの生物も生息していることが分かり、それぞれの生物の生息状況の把握が大切だと思った。
- ・ いろいろな動物の話を聞くことができおもしろかったです。
- ・ 梶浦さんの今までの結果がよく分かっておもしろかった。
- ・ 動物の調査をする中で人との深い関わりがあったという話が印象に残った。私も知識がある方々から話を聞いたり質問したりしながら学んでいきたい。国の特別天然記念物はレッドリストにのっていないことを初めて知った。
- ・ 郡上でのオオツノジカの骨との出会いからどんどん研究のテーマやフィールドが広がってゆかれた話楽しく聞きました。次の話をまたしてください。
- ・ 日本中の人と関わり合いながら調査を進めていて、すごいと思った。岐阜県にムササビがいることを初めて知って驚いた。
- ・ 人との出会いの大切さがとても良くわかりました。そこから世界がひろがることを子どもたちに伝えていきたいと思いました。より、動物、植物の出会いをして人との出会いをし、感動をしてほしいです。

② 大塚之稔さんの講演について

- ・ 生物に生息環境、人為的な行為により在来種と外来種の関係性が理解できた。
- ・ 大変わかりやすかった。
- ・ 渡り鳥（夏鳥）の数が減少しているのは日本だけの問題だけでなく越冬地の問題もあるかもというのが分かった。きっと渡り先は大丈夫なんだろうと今まで勝手に思っていた。
- ・ 外来種の問題を改めて考える機会となりました。鳥を通して自分たちの周りの環境の変化を考える機会にもなりました。
- ・ わからないところもありましたが、ありがとうございました。
- ・ 様々な鳥のお話が興味深く聞けて良かったです。
- ・ 分かりやすかった。
- ・ きれいな鳥なのに外来種はもったいない。地球環境について本当に考えないといけないと思った。
- ・ わかりやすく考えさせられる内容だった。
- ・ いろんな鳥の説明を聞けてよかったです。自分でも野外でじっくり観察してみたいなと思いました。一妻多夫制のタマシギの話が面白かったです。
- ・ 外来種の問題について歴史的視点と現在のあり方から取り上げられていて興味深く聴きました。” Today Birds, Tomorrow Men”考えさせられました。（→「沈黙の春」）
- ・ 話が聞きやすく、良くわかった
- ・ タマシギの「一妻多夫制」がおもしろいと思いました。また、サギは1羽で生きているのかと思っていたのでコロニーをつくっていると知っておどろきました。とても聞いていておもしろかったです。
- ・ 時間が短かった。
- ・ 豊富な知識と話術はすばらしい。
- ・ いつも楽しいお話ありがとうございます。美しい写真ありがとうございます。今日もわかりやすく、鳥に（とても）ますます興味を持ってました。今後も楽しみにしています。
- ・ 外来種の事もよく分かり、来てよかったですと思いました。ふれあいの森はよく行くので次回からは気をつけてみたいです。
- ・ 鳥の事に関してテレビや新聞でよく知っていたがシラサギではなくその内でもまた別のサギがいたことについておどろいた。
- ・ 講演のしかたが分かりやすく、理解することができたのでよかった。
- ・ 鳥愛があふれる方で聞いていて楽しかったです。もっといろいろな話を聞きたかったです。
- ・ とてもわかりやすいですし、興味をもって聴くことができました。自分たちの環境問題についても考えさせられました。
- ・ 非常にわかりやすく参考になりました。自分の学校でも鳥類について学びましたがあらためてどんなものがあるのかという理解や様々な要因の考察につながりました。夏鳥の減少の要因（考察）が個人的に気になりましたね。（どんな環境問題がそれにつながったのか）
- ・ 外来種は悪！という視点ではなく、様々な考え方から問題について述べてくださっていて、自分の中の固定かんねんが打ちやぶられました。中国の鳥屋？の写真が衝撃でした。
- ・ 外来種が悪いのか、いつも考えさせられます。
- ・ 外来種は様々な影響があるが、いないよりもいるほうが良いと知りました。タマシギのように一般的でない鳥が身近にいると知り、とても驚き興味をもちました。同じような生態でもその中でも増加している種と現象している種があると知り、自然は不思議なことばかりなのだと感じました。ありがとうございます。
- ・ 数を減らしている生物がなぜそうなっているかの原因を日本やその地域の中だけで考えず、海外の環境問題やはなれた地域との関わりにも視野を広げるべきだと気づいたのでよかったです。
- ・ 岐阜市の今の状況についてよく理解することができました。もっと学べるように頑張りたいと思いました。
- ・ いろんな生き物や外国の写真が出てきてとても分かりやすかったです。
- ・ 岐阜や日本の生物を減らさないためには、世界中の環境や考え方を整えていかなければならないということが分かった。また、国によって好まれる鳥の種類が違うというもおもしろいなと思った。個人の力で問題を解決するのは難しいけれど、少しでも興味を持ってできることを考えたり誰かに話してみたりしたいなと思った。
- ・ 減った理由などを明確に話していただき、わかりやすかった
- ・ 岐阜市の鳥類の現状がよく分かりました。
- ・ Today Birds, Tomorrow Men. が印象に残りました。
- ・ 外来種も見守りたい。
- ・ タマシギの生態がとても面白いと思った。とてもおもしろく、興味深い講演だった。
- ・ とても楽しく聞けました。岐阜市、日本だけの問題ではなく、東南アジアと世界の環境問題があることが確かにあるのではと、考えさせられました。

## 7 その他、生物多様性シンポジウム全体について（意見・感想）

- ・ 生物多様性という言葉がとてもわかりにくい。もう少し具体的に市民（小学校、中学生など）にわかりやすくするといいいのでは？
- ・ 今後も続けて下さい。哺乳類、鳥類も再度開催して下さい。
- ・ 実際に現地での活動のあっせんや募集もあればと思いました。
- ・ 生き物絵画展など関連するイベントもされていて、単独での開催よりもより多くの人に考えてもらえるようになっていくのかなと思いました。魚の話、川の環境の変化など水の中の世界のこともきいてみたいです。
- ・ 昆虫、土壌生物等、気にしないと目に入らない生き物についてテーマにしてほしいです。
- ・ わかりやすいpptでした。
- ・ 2時間という時間は、話を聞く体力がないものとしてはちょうどいい時間です。中日新聞でも案内を出してはいいのでは。
- ・ 見かけた動物は県や市役所に連絡すればいいということがわかった。
- ・ 学校でやってほしい。(SDGs)
- ・ 梶浦さんのお話の中で、金華山にピーナツを持っていき、ヤマガラにあげている人がいる、という話を聞き、登山者や公園利用者のマナーが気になりました。やってはいけないこと、マナーを含め、自然観察の方法やコツをシンポジウムで紹介していただけるといいなと思います。そういうテーマであれば、ぜひ子どもときいてみたいです！
- ・ 生き物は責任を持ってかう、（かうことが出来なくなった場合の事を考えてかうことが大切）
- ・ いままで知らなかったことを多く知れてよかったです。やっぱり自分は動物が好きで聞いていて楽しかったのでまた機会があれば参加したいです。また、自分に出来ることは少ないけどまずは知識を付けていきたいと思いました。ありがとうございました！
- ・ 知らないことばかりで大変勉強になりました。
- ・ トークセッションもとても良かった。もう少し時間（+1時間）を多くとって、開催しても良いかと思えます。
- ・ 生きものの説明や写真がカラーで載った資料があるとよかったです。生物や環境について考えるシンポジウムがありましたら今後もぜひ参加したいです。
- ・ 生息環境を主に考える会があってもよいのではないのでしょうか。
- ・ 生物多様性について考えられる本当に貴重な体験でした。たのしかったです。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 普段は聞けない話がきけてうれしかったです。ありがとうございました。
- ・ 生物多様性という言葉はわかるようでわからない多くの事を含んでいる気がしています。この集まりを継続していただき広げていただきたい。
- ・ 今後も参加したいです
- ・ とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ いろいろな生物の交雑種のお話を聞いてみたいです。